リハビリテーション科

2022年度のリハビリテーション科は、PT 2名・OT 1名・ST 1名の転勤者が加わり、昨年よりOT 1名増のPT19名・OT12名・ST 4名・事務員 1名の36名体制でスタートした。年度途中で2名の産休者が出たため、人力的には厳しい状況であったが、スタッフの協力により何とか対応出来た。

今年度もcovid-19の第7・8波が継続的に発生し患者減少が見られ、スタッフも何人か感染したため、単位数の減少が懸念されたが、昨年度との比較で108%の単位取得増であった。PT・OT・ST・共に取得単位数が昨年度を上回っており、人員が厳しい中、お互いにサポートしながら対応出来た結果と思われる。

リハビリテーション科での大きな出来事は、時系列に①今年度の診療報酬改定に盛り込まれたFLSが稼働し、リハビリも参加できたこと ②5月に心大血管リハビリテーション施設基準Iを取得したこと ③回復期リハビリテーション病棟が休日加算取得から回復期リハビリテーション病棟施設基準Iを取得できたことが挙げられる。

①については、前年度後半から津吉診療部長を中心にチームで検討し、4月よりFLS外来がスタートした。リハビリテーション科でも必要なデータ収集を行っている。②についても半年間の準備期間を経て取得にこぎつけた。当初は患者数について心配もあったが、外来患者数も順調に増えており、今のところ大きな問題なく経過している。③については12月より休日もリハビリテーションを提供する休日診療体制加算を取得。その後諸条件の数値を確認し、2月に施設基準Iを取得した。休日出勤という慣れない勤務体制で、今後の疲労など心配な面はあるが、体調に留意して継続していきたいと思う。

西5病棟における「ADL維持向上体制加算」については、心大血管リハビリテーションを算定したこと、また産休による人員不足も重なったため、加算の取得を終了した。

次年度に向けての取り組みとしては、心不全に対する教育入院についての立案、透析時運動療法指導加算への対応 In Bodyの利用方法についての検討などが挙げられるが、まずは昨年度取得した施設基準をしっかりと維持していきたい。

1. 2022年度臨床実習受け入れ状況

	学校名	実習名	担当	実習期間	実習時期
PT	医福大	臨床実習	水落	10週間	R 4. 8～10月
	晴陵リハ	臨床実習	加瀬・村山・猪爪	3週間	R 5. 1～2月
OT	晴陵リハ	臨床実習	築井	8週間	R 4. 8～10月
	医福大	臨床実習	松井⇒瀧本	3週間	R 4. 10月

2. 実績一覧

	日時	内容	担当
院内勉強会や講師	R4.10/18・20	看護部補助員研修 「誤嚥を予防し、安全に食事介助をしよう！」	ST 瀨沼・石田
	R5.1/12・17	看護部補助員研修「安全な移乗・移動の介助」 ～患者にあった安全な移乗・移動の援助をしよう～	PT 市川・山本
院外勉強会や講師	R4.4～R5.3	柏崎市地域リハビリテーション活動支援事業 「リハビリ訪問」 7事案に対応	PT 猪爪
	R4.4～R5.3	刈羽村地域ケア個別会議 5回/年参加	PT 小林
	R5.3	地域ケア推進会議	PT 小林
	R4.4～R5.3	地域リハビリテーション活動支援事業 訪問リハビリ事業 2件	PT 小林
	R5.2.20	通いの場にて「フレイル予防」講話	PT 小林
	R5.3.30	自立支援福祉施設スタッフへ介護予防研修	PT 小林
	R4.11.12～13	新潟県作業療法士会 臨床実習指導者講習会 世話人・ファシリテーター	OT 平澤
発表		新潟厚生連リハビリテーション協議会新人発表	
	R4.11.12～13	「看取りの方針から経口摂取が確立した症例」 ～アセスメントの重要性に着目して～	ST 石田
		「失調症状を呈した症例の独居を目指した住宅改修の経験」	OT 佐藤(杏)
	R5.3.8	メディコラ学習会「柏崎総合医療センターのリハビリテーション科を知ろう」	リハビリテーション科スタッフ

3. 業務統計

リハビリテーション科 業務報告 2022年度 累計 柏崎総合医療センター

理学療法		外来		入院		計	
		人数	単位	人数	単位	人数	単位
病 院 内 診 療 業 務	脳血管リハビリテーション料	16	21	7726	12513	7742	12534
	廃用症候群リハビリテーション料	1	2	8535	11638	8536	11640
	運動器リハビリテーション料	2274	2960	14646	25010	16920	27970
	呼吸器リハビリテーション料	0	0	5	10	5	10
	心大血管リハビリテーション料	111	329	1894	2548	2005	2877
	がん患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	認知症患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	消炎鎮痛処置	0	0	0	0	0	0
	リンパ浮腫複合的治療量	0	0	0	0	0	0
	摂食機能療法	0	0	0	0	0	0
	難病患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	介護療養病棟理学療法	0	0	0	0	0	0
	訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0	0
カンファレンス	0		2952		2952		
文書作成・提供	0		7251		7251		
委員会・回診等	0		202		202		
院外業務等	0		57		57		
作業療法		外来		入院		計	
		人数	単位	人数	単位	人数	単位
病 院 内 診 療 業 務	脳血管リハビリテーション料	62	85	8151	12383	8213	12468
	廃用症候群リハビリテーション料	0	0	4245	4770	4245	4770
	運動器リハビリテーション料	2357	3102	6818	10752	9175	13854
	呼吸器リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	心大血管リハビリテーション料	17	50	217	244	234	294
	がん患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	認知症患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	消炎鎮痛処置	0	0	0	0	0	0
	リンパ浮腫複合的治療量	0	0	0	0	0	0
	摂食機能療法	0	0	0	0	0	0
	難病患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	介護療養病棟理学療法	0	0	0	0	0	0
	訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0	0
カンファレンス	0		0		0		
文書作成・提供	0		0		0		
委員会・回診等	0		0		0		
院外業務等	0		0		0		
言語聴覚療法		外来		入院		計	
		人数	単位	人数	単位	人数	単位
病 院 内 診 療 業 務	脳血管リハビリテーション料	79	234	4544	7206	4623	7440
	廃用症候群リハビリテーション料	3	5	3662	5213	3665	5218
	がん患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	認知症患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0
	摂食機能療法	0	0	222	222	222	222
	集団コミュニケーション療法料	0	0	0	0	0	0
	介護療養病棟理学療法	0	0	0	0	0	0
訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	
カンファレンス	0		384		384		
文書作成・提供	0		2153		2153		
委員会・回診等	0		47		47		
院外業務等	0		2		2		